



We love 海青

2024年12月24日

学校便り No.23

校長 森 慎也

唐津市鎮西町横竹838番地9

学校教育目標 **海青中を誇りに思う生徒の育成** ~優しさあふれる学校に~

■ お陰様で2学期が無事に終了しました（お礼）

酷暑の中で始まった9月2日の始業式から、少しずつ寒さが増してきた本日まで、78日間の2学期が無事に終わることができました。1学期終業式の折にもお伝えいたしましたが、まずは、何より海青中学校182名の生徒が、大切な命を落とすことなく、大けがなどにつながるような事故等にも遭遇することなく2学期の終業式を迎えられたこと、そして2025年を無事に迎えることができそうなことに感謝します。このことは、生徒一人一人が、学校生活をはじめ、あらゆる場面において、命の大切さについて考え、交通安全等を意識しながら生活してくれたからだと思います。また、保護者様をはじめ、地域の方々の見守り、お声かけのおかげでもありますので、心から感謝申し上げます。

明日から14日間の休みに入ります。年末年始は、交通量が増えたり、人の往来が盛んになったりしますので、事件事故等に遭遇せず、充実した休みになるように引き続きご家庭、地域での見守りをよろしくお願いいたします。終業式の校長の話では、以下の内容に触れながら話をしました。

「一年の計は春にあり、一月の計は ^{ついたち}朔 にあり、一日の計は ^{けいめい}鶏鳴にあり」 (毛利元就)

元旦という言葉は使われていませんが、春=元旦と解釈することができるかもしれません。朔は「ついたち」と読み、月初めの日のことです。また鶏鳴は「けいめい」と読み、鶏の鳴き声のことから一番鶏が鳴く早朝のことを指す言葉です。毛利元就の言葉は、「一年、一月、一日それぞれの最初

のときこそが計画を立てるべきときである」ということを言ったもので、**何事も最初が肝心である**という戒めを意味しています。

メジャーリーガーの大谷選手をはじめとする偉大な方々は、必ず目標を設定し、その目標を常に念頭に置いて日々の努力を重ねています。明日から令和7年1月1日までは、時間に多少の余裕があると思いますので、今年一年を振り返るとともに、令和7年の目標設定をしてほしいと思います。そして、その目標をぜひ紙に書き、目に見えるところに掲示して、常に意識して目標達成へ向けた取組を継続してほしいと思います

「大晦日…。そして新年…。『ゆく年くる年』」

私は、毎年大晦日に必ず見る番組があります。おそらくほとんどの人が知っているとは思いますが、NHKで11時45分から放送されている「ゆく年くる年」です。紅白歌合戦が終了した後に、除夜の鐘の音とともに番組がスタートします。この番組は、各地方のお寺で除夜の鐘をつく人々を中継し、ナレーターがその地方の今年1年の出来事などを振り返ります。私の家では、物心ついたところから毎年この番組を見ながら年を越しています。幼い頃の私達（私と姉）は、何一つ楽しくもないこの番組を、眠い目をこすりながらいやいや見ていました。番組を見ている間、母は黙々と年越しそばの準備をし、父と私と姉はただ黙ってテレビを観ます。深夜0時を過ぎると、お互いに新年のあいさつを交わし、その後父から「去年は、家族全員が健康で過ごすことができました。今年も、まずはお互い健康で1年間自分がやるべきことを頑張りましょう。」という話があり、家族4人で年越しそばを食べていました。このような大晦日と新年をただなんとなく過ごしていましたが、中学3年生ぐらいから、この11時45分から新年を迎えるまでの15分間の沈黙の時間を、無意識に1年間を振り返り、来年への展望をもつ時間にするようになりました。今考えてみると、この15分間の沈黙の中で、父は私達に1年間の反省をするとともに、来年へ向けたしっかりとした目標を持たせることを無言で教えてくれていたのだと思います。

■ 国スポ選手と交流会開催

12月11日(水)、国民スポーツ大会にトライアスロン競技佐賀県代表として参加された甲斐瑠夏選手、松本文佳選手、佐賀県トライアスロン協会柿塚晋也様が来校され、国スポトライアスロン競技のボランティア活動を行った3年生、応援をした1、



2年生へお礼を伝えに来ていただきました。アスリートの食生活やトライアスロン競技についても詳しく説明していただきました。会の進行を体育副委員長のM.Kさんがスムーズに行い、体育委員長T.Sさんが、生徒を代表してお礼の言葉を伝えました。

■ 3年生を励ます会

12月13日(金)の午後、PTA母親部会主催の3年生を励ます会が行われました。受験勉強で疲れた心と体を少しでもリラックスさせて、これから始まる「勝負」へ力を蓄えてほしいという願いから開催していただきました。椅子取りゲームや○×クイズなどを実施していた



いただきましたが、子どもたちは終始笑顔でとても楽しそうでした。お忙しい中、企画、運営していただきました保護者の皆様ありがとうございました。卒業まで、引き続きよろしく願いいたします。

■ 3年生諸君！冬休みが最後のチャンス！100時間！

かれこれ36年前の話になりますが、私が中学3年生の時、第一志望の高校への合格ラインまでは、あと一歩足りず、不安を抱えながら冬休みを迎えようとしていました。そんな私に、担任の先生から「冬休みは、自分で勉強する時間を確保できる最後のチャンスだ。本気で〇〇高校へ行きたかったら、必死に勉強してみろ！」と言われ、「冬休み14日間でトータル100時間自学学習(自分一人での学習時間です。)」という目標を課していただきました。14日間で100時間ということは、1日8時間弱。1日の1/3は勉強…(涙)。結果は何とか100時間をクリアすることはできました。もちろん中学校生活の中で一番集中し、充実して学習できた時間でした。14日間は、ほぼ外出もせず、大晦日もお正月でさえもテレビは見ずに本当に我武者羅に勉強しました。このことがきっかけとなり、冬休み後も入試まで集中して学習に取り組み、無事に志望校にも合格できました。3年生の皆さん、本気でその高校へ行きたかったら、だまされたと思って実行してみてください。夢は叶う！

いよいよ入試の日がやってきます。
自分が蓄えてきたすべての力を尽くす日です。
そこでは、誰も助けてくれません。
自分一人の力が頼りです。
不安と心配と緊張とで、心の中はいっぱいでしょう。
始まりを待つ時間がとても長く感じられるでしょう。
終わりの時間がとても早く感じるでしょう。

でも

もしも、ベストを尽くすことができたなら、
きっと、すがすがしい気持ちになれることでしょう。
受験するみんなにそんな気持ちを味わってほしい。
そして、その結果を待ってほしい。
その結果は、受験したあなた自身のものです。

そして、

その結果が将来のあなたへの第一歩となるのです。
これまでずっといろいろな将来の夢を描いてきたことでしょう。
その夢の実現に向かう第一歩をどのように踏み出すか。

それは、

あなた自身が受験の日までどれくらい努力をしたか、
受験の日にどれくらい力を出すことができたか
そこにかかっているのです。

だから、

その日までに最大限の努力をしてほしい。
その日にベストを尽くしてほしい。
自分の夢の実現に向けて
希望を持って第一歩を踏み出してほしい。
どうか、どうか精一杯頑張ってください。